



## Numerics

### 802.1D

STP を参照

### 802.1Q

IEEE 802.1Q を参照

## A

ABR 11-10

### ACL

ACL の適用 16-5

概要 16-1

作成

IP ACL 16-3

拡張 IP ACL 16-3

名前付き IP ACL 16-3

名前付き拡張 IP ACL 16-4

名前付き標準 IP ACL 16-4

番号付き標準 IP ACL 16-3

実装時の注意事項 IP ACL 16-3

名前付き IP ACL 16-2

ASBR 11-10

Auto-MDIX 4-7

## B

BGP、概要 11-28

BPDU RSTP の形式 7-14

bridge irb コマンド 12-4

bridge-group virtual interface

BVI を参照

bridge-group コマンド 4-5, 4-7, 4-8, 4-9, 18-10

### BVI

情報の表示 12-6

設定 12-4

説明 12-2

ルーティングの有効化 12-3

bvi コマンド 12-4

## C

CDP、レイヤ 2 プロトコル トンネリング 9-12  
CE-100T-8

IEEE 802.1Q 22-5

IS、AINS 22-5

LCAS 22-14

MTU 22-3

STS/VT 割り当てタブ 22-12

イーサネット機能 22-2

概要 22-1

拡張状態モデル (ESM) 22-5

最大帯域幅 22-12

統計情報およびカウンタ 22-7

プール 22-12

プライオリティ キューイング (ToS および CoS) 22-5

フレーム バッファリング 22-3

フロー制御 22-3

容量制限 22-12

リンク完全性 22-4

channel-group コマンド 10-4, 10-6

Cisco HDLC 20-6

Cisco IOS

1 レベル上に戻る 3-18

イネーブル EXEC モード 3-16

イメージのアップグレード 1-6

インターフェイス コンフィギュレーション モード 3-16

グローバル コンフィギュレーション モード 3-16

コマンドモード 3-16?3-18

コマンドの表示 3-18

コンソール コンフィギュレーション モード 3-17

- スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 3-11
- ソフトウェアの基礎 3-16
- ユーザ EXEC モード 3-16
- ログイン強化 19-2
- Cisco IOS ソフトウェア イメージ 3-2
- clear bridge コマンド 6-5
- clear vlan statistics コマンド 6-5
- clear vlan コマンド 8-6
- cos commit コマンド 14-16
- CoS ベース QoS 14-16
- CoS ベース パケットの統計情報 14-26
- CTC
  - CTC での Cisco IOS 3-3
  - POS 統計情報 2-2
  - POS ポートのプロビジョニング情報 2-4
  - SONET アラーム 2-5
  - SONET 回線の設定 2-6
  - イーサネット ポートのプロビジョニング情報 2-3
- D
- Diffusing Update Algorithm (DUAL) 11-21
- DRPRI
  - 概要 1-6, 17-18
  - 設定 17-20
  - 例 17-20
- DUAL 有限状態マシン、EIGRP 11-22
- E
- EIGRP
  - インターフェイス パラメータ、設定 11-25
  - コンポーネント 11-21
  - 設定 11-23
  - 説明 11-21
  - デフォルト設定 11-22
  - 認証 11-26
  - モニタリング 11-27
- Enhanced IGRP
  - EIGRP を参照
- EoMPLS 18-1
- EtherChannel
  - カプセル化の設定 10-8
  - サポートされるポート チャネル 10-2
- Ethernet Wire Service (EWS) 9-8
- E シリーズ カード
  - EtherSwitch
    - シングル カード 21-16
    - マルチカード 21-15
  - IEEE 802.1Q 21-20
  - IEEE 802.3z フロー制御 21-18
  - Q タギング 21-20
  - RMON アラームしきい値 21-30
  - VLAN カウンタ 21-19
  - VLAN サポート 21-19
  - アプリケーション 21-15
  - 回線保護 21-26
  - 共有パケットリング 21-28
  - 手動クロスコネク ト 21-29
  - シングルカード EtherSwitch 21-16
  - スパニングツリー (STP) 21-23
  - 専用カプセル化 20-6
  - ハブアンドスポーク構成のイーサネット回線 21-29
  - プライオリティ キューイング 21-21
  - フロー制御 21-18
  - ポイントツーポイント回線 21-27
  - ポート マッピング 21-17
  - マルチカード EtherSwitch 21-15
  - リニア マッパー 21-17
  - レイヤ 2 スイッチング 21-15
- F
- FEC
  - ISL の設定 10-8
  - カプセル化の設定 10-8
  - サポートされるポート チャネル 10-2
  - 設定 10-3, 10-5
  - 注意 10-2, 10-5
- FPGA 2-6
- G
- GEC
  - カプセル化の設定 10-8
  - 設定 10-3, 10-5
- GFP-F フレーミング 1-6, 20-7
- G シリーズ カード
  - Gigabit EtherChannel (GEC) 21-5

- IS、AINS 21-7
- STS-24c/VC4-8c の制限 21-8
- アプリケーション 21-1
- 回線 21-8
- 回線の制限 21-8
- 拡張状態モデル (ESM) 21-7
- 個別の自動ネゴシエーションおよびフロー制御 21-4
- 自動ネゴシエーション 21-4
- 手動クロスコネクト 21-9
- トランスポンダモード 21-10
- フレームバッファリング 21-4
- フロー制御の水準点のプロビジョニング 21-4
- ポイントツーポイントイーサネット回線 21-8
- リンク完全性 21-6
- G シリーズに対するトランスポンダモード 21-10
  
- H
  
- hostname コマンド 3-11
  
- I
  
- IEEE 802.1D
  - STP を参照
- IEEE 802.1Q トンネリング
  - 説明 9-2
  - 他の機能との互換性 9-5
  - デフォルト 9-5
- IGMP 11-36
- IGP 11-10
- Interior Gateway Protocol
  - IGP を参照
- Internet Group Membership Protocol
  - IGMP を参照
- IOS
  - Cisco IOS を参照
- IOS コマンド A-1
- ip multicast-routing コマンド 11-37
- ip pim コマンド 11-37
- ip radius nas-ip-address 19-19, A-5
- IPX 22-2
- IP マルチキャストルーティング
  - IGMP 11-36
  - PIM 11-36
  - 説明 11-36
- IP ユニキャストルーティング
  - IGP 11-10
  - 管理距離 11-34
  - スタティックルートの設定 11-33
- IP ルーティングプロトコル、設定作業 11-2
- IP ルート、モニタリング 11-35
- IRB
  - BVI 12-2
  - 情報の表示 12-6
  - 設定 12-3
  - 設定についての考慮事項 12-2
  - 説明 12-2
  - モニタリングと確認 12-6
- IS、AINS 21-7, 22-5
  
- J
  
- J1 バイト 2-6
  
- K
  
- keepalive コマンド 5-6
- Kermit プロトコル C-3
  
- L
  
- LCAS 22-14
- LEX カプセル化 20-5
- line vty コマンド 3-10
- logging コマンド C-3
- LSA 11-15
  
- M
  
- MAC アドレス 4-2
- match any コマンド 14-11
- match cos コマンド 14-12
- match ip dscp コマンド 14-12
- match ip precedence コマンド 14-12
- ML シリーズのソフトリセット 3-2
- ML シリーズのハードリセット 3-2
- MPLS
  - VC A-30
  - 設定 18-1
- MSTP、IEEE 802.1D との相互運用性 7-16

- MST プロトコル トンネリング 9-13
- N**
- Not-So-Stubby Area (準スタブエリア)  
NSSA を参照
- NSSA、OSPF 11-15
- O**
- OSPF
- LSA グループ ペーシング 11-19
  - network area コマンド 11-3
  - インターフェイス パラメータ、設定 11-13
  - エリア パラメータ、設定 11-15
  - 仮想リンク 11-17
  - 経路集約 11-17
  - 設定 11-3, 11-12
  - 説明 11-10
  - デフォルト設定
    - 設定 11-10
    - メトリック 11-18
    - ルート 11-17
  - プロセス ID 11-3
  - モニタリング 11-20, 11-34
  - ルータ ID 11-20
- P**
- PC、スイッチへの接続 3-6
- Per-VLAN Spanning Tree+ 7-9
- PIM
- 設定 11-37
  - モード 11-36
  - ランデブー ポイント 11-36
- port-channel コマンド 10-2
- POS
- GFP-F フレーミング 1-6, 20-7
  - LEX 20-5
  - ML シリーズの一般的な設定 5-12
  - SONET アラーム 5-7, 5-8
  - インターフェイスの設定 5-4
  - 概要 20-2
  - カプセル化タイプ 20-5
  - 説明 5-2
  - 相互運用性 20-3
  - フレーミング 20-7
  - pos delay triggers コマンド 5-8
  - pos report コマンド 5-7, A-8
  - pos scramble-atm コマンド 5-9
  - PPP/BCP 20-5
  - Protocol Independent Multicast
    - PIM を参照
  - PVST+
    - Per-VLAN Spanning Tree+ を参照
- Q**
- QinQ 9-2
- QoS ポリシング機能 14-14
- R**
- RADIUS
- AAA サーバ グループの定義 19-15
  - 概要 19-9
  - サーバの特定 19-10
  - 設定
    - アカウンティング 19-18
    - 許可 19-17
    - サーバごと、通信 19-10
    - 通信、グローバル 19-20
    - 認証 19-13
    - 複数の UDP ポート 19-10
  - 設定の表示 19-23
  - 属性
    - ベンダー固有 19-21, 19-22
  - デフォルト設定 19-10
  - ユーザのアクセスしたサービスの追跡 19-18
  - ユーザへのサービスの制限 19-17
- RADIUS を使用したアカウンティング 19-18
- RADIUS を使用した許可 19-17
- RADIUS を使用したログイン認証 19-13
- RFC
- 1058、RIP 11-5
  - 1253、OSPF 11-10
  - 1587、NSSA 11-10
- RIP
- アドバタイズ 11-5
  - サマリー アドレス 11-9
  - スプリット ホライズン 11-9

- 設定 11-6
- 説明 11-5
- デフォルト設定 11-5
- 認証 11-8
- ホップ カウント 11-5
- RIP のアドバタイズ 11-5
- RJ-11/RJ-45 コンソール ケーブル アダプタ 3-5
- RJ-11 と RJ-45 のピンの対応関係 3-5
- RJ-45 コネクタ、コンソール ポート 3-7
- RMON 1-7
- router bgp コマンド 11-3
- router eigrp コマンド 11-2
- router isis コマンド 11-31
- RPF 11-36
- RPR
  - CoS ベース QoS 14-16
  - DRPRI 17-18
  - MAC アドレスと VLAN サポート 17-5
  - QoS 14-10
  - 概要 1-7, 17-2
  - キャリア遅延 17-4
  - 設定 17-6
  - 例 17-10
- RSTP
  - BPDU
    - 形式 7-14
    - 処理 7-15
  - IEEE 802.1D との相互運用性
    - 説明 7-16
    - トポロジーの変更 7-16
  - アクティブ トポロジー、決定 7-12
  - 概要 7-11
  - 高速 コンバージェンス
    - ポイントツーポイント リンク 7-12
    - ルート ポート 7-12
  - 指定スイッチ、定義 7-11
  - 指定ポート、定義 7-11
  - 提案合意ハンドシェイク プロセス 7-12
  - ポートの役割
    - 説明 7-11
    - 同期化 7-13
  - ルート ポート、定義 7-11
- S
  - script コマンド C-3
- SDH アラーム 5-7
- SDM
  - TCAM も参照
  - 設定
    - autolearn 15-3
    - サイズ 15-3
    - 領域 15-2
  - sdm access-list コマンド 15-4
  - sdm size コマンド 15-3
  - service-policy input コマンド 14-16
  - service-policy output コマンド 14-16
  - service-policy コマンド、トラフィック ポリシー 14-16
  - set qos-group コマンド 14-15
  - show bridge group コマンド 6-5
  - show bridge コマンド 6-5
  - show interfaces bvi コマンド 12-6
  - show interfaces irb コマンド 12-6
  - show interfaces port-channel コマンド 10-11
  - show ip mroute コマンド 11-37
  - show policy-map コマンド 14-17
  - show sdm size コマンド 15-3
  - show tech-support コマンド C-2
  - SNMP 1-6
  - SONET アラーム 5-7
  - SSH
    - 設定 19-3
  - STP
    - BPDU メッセージ交換 7-3
    - IEEE 802.1Q トランクの限界 7-9
    - インターフェイスの状態
      - 概要 7-6
      - ディセーブル 7-8
      - フォワーディング 7-7, 7-8
      - ブロッキング 7-7
      - ラーニング 7-8
      - リスニング 7-8
    - 劣った BPDU 7-3
    - 概要 7-2
    - 拡張システム ID
      - 概要 7-4
      - 予期しない動作 7-18
    - サポートされているスパンニングツリー インスタンスの数 7-3, 7-11
    - 指定スイッチ、定義 7-3
    - 指定ポート、定義 7-3
    - 冗長接続 7-9

- ステータスの表示 7-23
  - 設定
    - Hello タイム 7-21
    - スイッチプライオリティ 7-21
    - 転送遅延時間 7-22
    - パス コスト 7-20
    - ポート プライオリティ 7-19
    - ルート スイッチ 7-18
  - タイマー、説明 7-5
  - ディセーブル化 7-18
  - デフォルト設定 7-17
  - 転送遅延時間 7-7
  - マルチキャスト アドレス、影響 7-9
  - 優良 BPDU 7-3
  - ルート スイッチ
    - 拡張システム ID の影響 7-4
    - 選出 7-4
    - 予期しない動作 7-18
  - ルート ポート、定義 7-3
  - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 9-12
  - STP のパス コスト 7-20
  - SW-LCAS 5-4
  - Syslog サーバ C-3
- T**
- TCAM**
- SDM も参照
  - エントリ 15-2
  - スペース 15-1
  - プロトコル領域 15-1
  - レイヤ 3 スイッチング情報 15-1
- Ternary Content Addressable Memory
- TCAM も参照
- V**
- VC4/VC LO 割り当て 22-12
  - VC、インターフェイスの割り当て A-30
  - VLAN
    - IEEE 802.1Q の設定 8-3
    - STP と IEEE 802.1Q トランク 7-9
    - エージング ダイナミック アドレス 7-10
    - サービスプロバイダー ネットワークのカスタマー番号 9-4
    - システムごとの数 8-2
    - トランク ポート 8-2
    - VLAN 固有サービス 9-8
  - VRF Lite
    - 概要 13-1
    - 設定 13-2
    - モニタリングと確認 13-7
    - 例 13-3
  - VTP レイヤ 2 プロトコル トンネリング 9-12
  - vty 3-5
- X**
- xconnect コマンド A-30
- あ**
- アクセス制御リスト
    - ACL を参照
  - アダプタ ケーブル 3-5
  - アドレス
    - ダイナミック
      - 加速されたエージング 7-10
      - デフォルトのエージング 7-10
    - マルチキャスト、STP アドレス管理 7-9
  - アラーム 5-7
- い**
- イーサネット
    - クロッキング 20-12
    - フレーム バッファリング 22-3
  - イーサネットの設定作業 4-5
  - イネーブル EXEC モード 3-16
  - イネーブル モード 3-16
  - イネーブル シークレット パスワード 3-9
  - イネーブル パスワード 3-9
  - インターネット プロトコル マルチキャスト
    - IP マルチキャスト ルーティングを参照
  - インターフェイス コンフィギュレーション モード 3-16
  - インターフェイス パラメータ、設定
    - EtherChannel 10-3, 10-5, 13-2
    - 概要 4-2, 4-4
  - インターフェイス ポート ID 4-3

- え
- エージング タイム、STP 用に加速 7-10, 7-22
  - エラー メッセージ、記録 C-3
  - エリア境界ルータ
    - ABR を参照
- か
- カードの説明 1-2
  - 回線定義 21-9
  - 拡張システム ID、STP 7-4
  - 拡張状態モデル (ESM) 21-7, 22-5
  - 拡張パフォーマンス モニタリング 14-26
  - 確認
    - IP マルチキャストの動作 11-37
    - VLAN の動作 8-6
  - 仮想 LAN
    - VLAN を参照
  - カプセル化
    - EtherChannel の設定 10-8
    - IEEE 802.1Q VLAN の設定 8-3
  - 監査証跡 19-2
  - 管理距離
    - OSPF 11-18
    - ルーティング プロトコルのデフォルト 11-34
  - 管理ポート
    - コンソール ポートも参照
    - 設定 3-9
- き
- ギガビット イーサネット
    - インターフェイスの設定 4-8, 4-9
    - 自動ネゴシエーションの設定 4-8, 4-9
  - 機能リスト 1-3
  - キューイング 22-5
  - 近接ルータ検出 / 回復、EIGRP 11-21
- く
- グローバル コンフィギュレーション モード 3-16
  - クロッキング許容値 20-12
- け
- 経路集約、OSPF 11-17
  - ケーブル、RJ-11/RJ-45 アダプタ 3-5
- こ
- 高信頼性転送プロトコル、EIGRP 11-21
  - コマンド
    - bridge irb 12-4
    - bridge priority 6-3
    - bridge protocol drpri-rstp A-2
    - channel-group 10-4, 10-6
    - clear bridge 6-5
    - clear vlan 8-6
    - clear vlan statistics 6-5
    - debug vlan packet 8-6
    - hostname 3-11
    - interface spr 1 A-4
    - ip multicast-routing 11-37
    - ip pim 11-37
    - ip radius nas-ip-address A-5
    - line vty 3-10
    - microcode fail system-reload A-6
    - network area 11-3
    - pos report A-8
    - router bgp 11-3
    - router eigrp 11-2
    - sdm size 15-3
    - show bridge 6-5
    - show bridge group 6-5
    - show interfaces bvi 12-6
    - show interfaces irb 12-6
    - show interfaces port-channel 10-11
    - show ip mroute 11-37
    - show sdm size 15-3
    - show tech-support C-2
    - show vlan 8-6
    - spr station-id A-28
    - spr wrap A-29
    - spri drpri-id A-25
    - spr-intf-id A-26
    - インターフェイス bvi 12-4
    - 表示 3-18
    - ブリッジ グループ 4-5, 4-7, 4-8, 4-9, 6-3, 18-10
    - ブリッジ プロトコル 6-3, 18-10

- リファレンスの章 A-1
  - コマンドの短縮 3-18
  - コンソールポートのディセーブル化 19-2
  - コンソールポート、接続 3-6
  - コンソールポートへの接続 3-6
  - コンフィギュレーションモード
    - グローバル 3-16
    - コンソール 3-17
- さ**
- サービスプロバイダー ネットワーク
    - IEEE 802.1Q トンネリング 9-2
    - カスタマー VLAN 9-3
    - レイヤ 2 プロトコル 9-12
  - サポート、テクニカル
    - テクニカル サポートを参照
- し**
- システム MTU
    - IEEE 802.1Q トンネリング 9-5
    - 最大 9-5
  - 出力プライオリティ マーキング 14-8
  - 受動インターフェイス OSPF 11-18
  - 自律システム境界ルータ
    - ASBR を参照
- す**
- スイッチ間リンク プロトコル
    - ISL を参照
  - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 3-11
  - スタートアップ コンフィギュレーション ファイルの復元 3-13
  - スタティック ルート、設定 11-33
  - スタブエリア、OSPF 11-15
- せ**
- 接続手順 3-6?3-7
  - 設定
    - BVI 12-4
    - EtherChannel カプセル化 10-8
- IP 11-1
  - IP マルチキャスト 11-36
  - ISL over FEC 10-8
  - VLAN 8-2
  - インターフェイス、概要 4-2
  - 管理ポート 3-9
  - 統合ルーティングとブリッジング
    - IRB を参照
  - ホスト名 3-11
- そ**
- ソース 21-9
  - 属性、RADIUS
    - ベンダー固有 19-21, 19-22
  - ソフト リセット 22-2
  - 疎モード、PIM 11-36
- た**
- 帯域幅コマンドトラフィック クラス 14-13, 18-5
  - ダイナミック アドレス
    - アドレスを参照
  - タグ付きパケット、レイヤ 2 プロトコル 9-12
  - 端末
    - スイッチへの接続 3-6
    - 端末エミュレーション ソフトウェア 3-6
    - ルータ出力の記録 C-3
- て**
- データベースの復元 3-13
  - テクニカル サポート
    - FTP サービス C-3
    - show tech-support コマンド C-2
    - データの収集 C-2
    - データの提供 C-3
    - ルータ出力の記録 C-3
  - 手順、接続 3-6?3-7
  - デフォルト設定
    - EIGRP 11-22
    - OSPF 11-10
    - RADIUS 19-10
    - RIP 11-5
    - STP 7-17



レイヤ2プロトコルトンネリング 9-14  
 デフォルトのマルチキャスト QoS 14-24  
 電子メール、テクニカル サポート C-3

## と

統計情報、OSPF 11-20, 11-34  
 統合ルーティングとブリッジング  
 IRB を参照  
 トラフィック クラス 14-11  
 トラフィック ポリシー  
 インターフェイス、適用 14-16  
 作成 14-12  
 トランク ポート 8-2  
 ドロップ  
 説明 21-9  
 トンネリング  
 IEEE 802.1Q 9-2  
 定義 9-1  
 レイヤ2プロトコル 9-12  
 トンネル ポート  
 IEEE 802.1Q、設定 9-6, 9-15, 9-16  
 説明 9-2  
 他の機能との非互換性 9-5

## に

二重タグ付きパケット  
 IEEE 802.1Q トンネリング 9-3  
 レイヤ2プロトコルトンネリング 9-13  
 入力プライオリティ マーキング 14-9  
 認証  
 RADIUS  
 鍵 19-11  
 ログイン 19-13

## ね

ネットワーキング プロトコル、IP マルチキャスト ルーティング 11-36  
 ネットワーク要素のデフォルト 22-3

## は

パスワード 3-9

## ふ

ファストイーサネット  
 インターフェイスの設定 4-5  
 自動ネゴシエーションの設定 4-5  
 プライオリティ マルチキャスト QoS 14-23  
 ブリッジ  
 機能リスト 1-3  
 設定 6-4  
 モニタリングと確認 6-5  
 ブリッジグループ、ルーティング 12-2  
 ブリッジプロトコル コマンド 18-10  
 フロー制御 22-3  
 プロトコル依存型モジュール、EIGRP 11-22

## ほ

ボーダー ゲートウェイ プロトコル  
 BGP を参照  
 ポート チャンネル 10-2  
 ポート ID 4-3  
 ポート プライオリティ、STP 7-19

## ま

マルチキャスト、IP  
 IP マルチキャスト ルーティングを参照  
 マルチキャスト QoS 14-23  
 マルチキャスト プライオリティ キューイング 14-23

## み

密モード、PIM 11-36

## め

メッセージの記録 C-3  
 メディア アクセス制御 アドレス  
 MAC アドレスを参照  
 メトロ タグ 9-3

## も

モジュラ QoS コマンドライン インターフェイス  
 設定 14-11  
 設定、確認 14-17  
 設定 (例) 14-18

## モニタリング

EIGRP 11-27  
 IEEE 802.1Q トンネリング 9-16  
 IP ルート 11-35  
 OSPF 11-20, 11-34  
 トンネリング 9-16  
 レイヤ 2 プロトコル トンネリング 9-16

## ろ

ログイン強化 19-2

## ゆ

ユーザ EXEC モード 3-16  
 優先キューイング 22-5

## ら

ランデブー ポイント 11-36

## り

リモート端末、ルータ出力の記録 C-3  
 リンク完全性 22-4

## る

ルータ ID、OSPF 11-20  
 ルータ出力の記録 C-3  
 ルーティング プロトコルの管理距離 11-34  
 ルート計算タイマー、OSPF 11-18

## れ

レイヤ 2 プロトコル トンネリング 9-13  
 設定 9-13  
 注意事項 9-14  
 定義 9-12  
 デフォルト設定 9-14  
 レイヤ 2 の機能リスト 1-3  
 レイヤ 3 の機能リスト 1-5